

株主の皆様をはじめ全てのステークホルダーの
皆様からの信頼回復に努めるとともに、
環境・社会への貢献と持続的成長を
追求してまいります。

株式会社神戸製鋼所 代表取締役社長

山口 貢



株主の皆様には、格別のご高配を賜わりありがたく厚く御礼申し上げます。

はじめに、当社グループにおける品質不適切行為により、株主の皆様には多大なるご心配とご迷惑をお掛けしておりますこと、改めて深くお詫び申し上げます。

当社グループは、昨年3月6日に「当社グループにおける不適切行為に関する報告書」にて再発防止策を公表し、その進捗状況も定期的に報告しております。

再発防止策は、ガバナンス面・マネジメント面・プロセス面から構成され、ガバナンス面では、取締役会の体制変更含め、品質保証・リスク管理体制の再構築を行ないました。マネジメント面では、本社に品質統括部を設置するとともに、品質統括部による品質監査も、2019年3月末までに、対象となる117拠点すべてで実施し、今後も継続していく予定としております。プロセス面では、試験・検査データの不適切な取扱い機会の排除を図るため、2020年度末までに約1,800件の試験・検査装置の自動化を計画しており、2019年度末までに約80%の完了を見込んでおります。

また、私を含む経営幹部は、対話が、会社と社員、上司と部下など、あらゆる信頼関係の基礎をなすものと考え、昨年4月より各事業所やグループ会社に足を運び、そこで働く社員に直接語り掛け、対話する機会を設けてきました。こうした対話を通じて、企業の存続において大切にすべき共通の価値観の醸成や、現場の困りごとを放置しない企業風土の構築にも取り組んでおります。

これからも、全社員が一丸となって再発防止策を着実に実行し、当社グループを「誇り、自信、愛着、希望」あふれる企業グループへと変革させていくべく、この活動を続けてまいります。

当期の業績及び当期の配当について

さて、当社グループの当期連結業績につきましては、後述の「業績のご報告」でご説明しておりますとおり、売上高は前期に比べ907億円増収の1兆9,718億円となりましたが、設備トラブルによる販売数量の減少やエネルギーコストの上昇などにより、営業利益は前期に比べ406億円減益の482億円、経常利益は前期に比べ365億円減益の346億円となりました。特別損益は、固定資産の減損損失を計上した一方で、神鋼不動産(株)の株式の75%を譲渡したことに伴う利益を計上したことなどから143億円となり、親会社株主に帰属する当期純利益は前期に比べ272億円減益の359億円となりました。

当期の配当につきましては、当社の財政状態、業績の動向、先行きの資金需要等を総合的に勘案した結果、1株につき10円とさせていただきます。株主の皆様には、何卒ご理解を賜りたいと存じます。

今後の取組みについて

当社グループは、2016年4月に、2016～2020年度までを対象とする5か年のグループ中期経営計画を策定し、これまで取り組んでまいりました。2018年度までの3年間を振り返りますと、鉄鋼事業における上工程集約をはじめとした収益改善を実行し、自動車軽量化戦略を推進するための新規の戦略投資を順次意思決定してまいりました。電力事業では2つの新規プロジェクトを計画通り推進しております。一方で、業績面については、不十分な結果であったと言わざるを得ません。

事業環境の変化等を踏まえつつ、当社グループとして足元で取り組むべき課題と将来の成長を見据えた施策をそれぞれ明確にするために、今般「中期経営計画ローリング」としてまとめ、本年5月に公表いたしました。

当社グループといたしましては、これまで掲げてきた「素材系、機械系、電力を3本柱とする事業体の確立」を目指す基本方針は変えませんが、2019～2020年度の2年間においては、品質不適切行為に対する再発防止策を含め、信頼回復に向けて、愚直に取り組むのはもちろんのこと、「素材系を中心とした収益力強化」に加え、「経営資源の効率化と経営基盤の強化」を主要テーマとして取り組みます。

将来の成長を見据えた施策についても継続して取り組んでまいります。具体的には、鉄とアルミの両方の軽量化素材・部品、さらに溶接材料や異材接合技術を有する世界での唯一のメーカーとして、当社独自の自動車軽量化戦略を進めてまいります。また、企業活動において必要となるコーポレートガバナンスへの取組みや優秀な人材確保・育成、IT戦略など経営基盤として強化すべき点にも鋭意取り組んでまいります。

当社グループは、株主の皆様をはじめ全てのステークホルダーの皆様からの信頼回復に努めるとともに、環境・社会への貢献と持続的成長を追求してまいります。株主の皆様におかれましては、引き続きご指導とご鞭撻を賜りますとともに、当社グループをご支援いただきますようお願い申し上げます。